

愛知県地震概況

令和7年（2025年）11月

この資料は速報であり、後日の調査で修正することがあります。

○概況

1. 愛知県内で震度1以上を観測した地震の状況

11月に愛知県内で震度1以上の揺れを観測した地震が5回発生しました。

2. 愛知県内や愛知県周辺で発生した主な地震

- ①06日23時05分静岡県西部でM3.2の地震（最大震度1 深さ22km）が発生しました。
- ②07日12時07分愛知県西部でM2.9の地震（最大震度1 深さ11km）が発生しました。
- ③07日21時41分愛知県西部でM3.1の地震（最大震度1 深さ42km）が発生しました。
- ④12日15時50分愛知県西部でM3.4の地震（最大震度2 深さ45km）が発生しました。
- ⑤30日23時55分愛知県西部でM3.8の地震（最大震度2 深さ39km）が発生しました。

3. 深部低周波地震（微動）の活動状況

・東海（領域a）

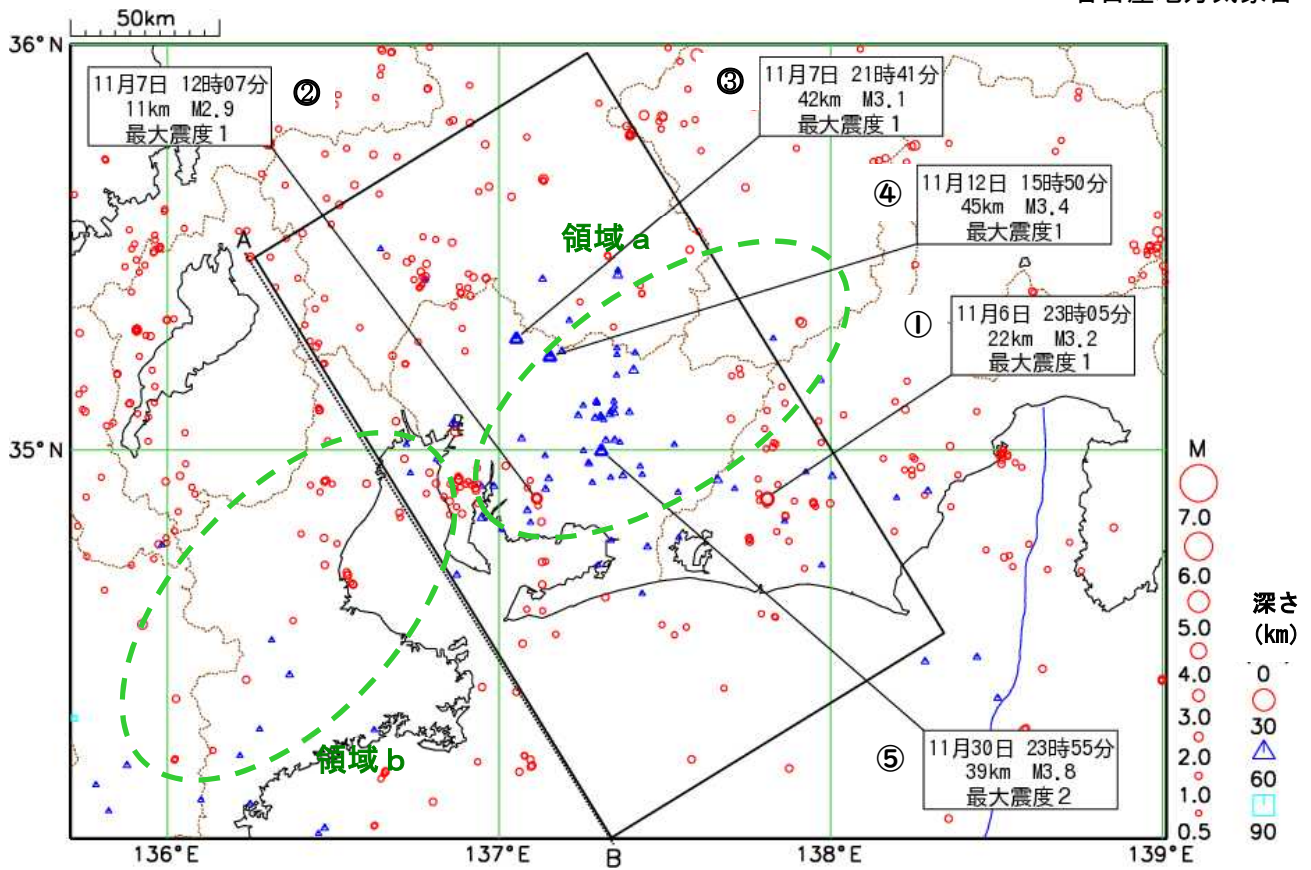
1日、4日～9日、12日、30日～12月1日

・紀伊半島北部（領域b）

9日、11日～16日^{注1)}、26日

注1) 国立研究開発法人防災科学技術研究所による解析では、11月9日頃から微動活動が見られた。

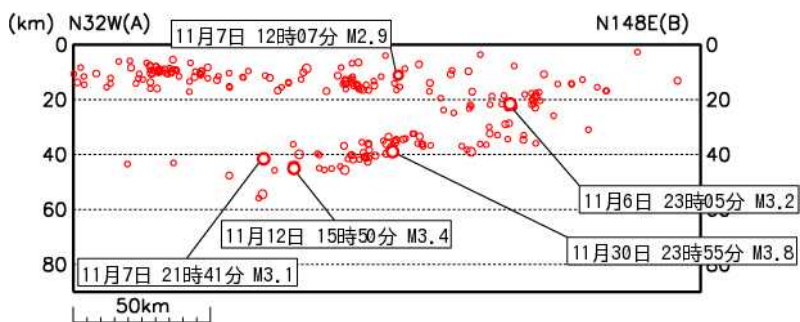
震央分布図は次ページ

震央分布図 (2025年11月1日～30日 深さ0～90km M \geq 0.5)

深部低周波地震 (微動)

深部低周波地震の震央は震源決定精度が高くないため、地震が発生した領域を破線で表示しています。

(注) Mはマグニチュード (地震の規模) の略です。



左の断面図は、震央分布図中の斜めの四角形内の震源を、A-Bに沿って置いたスクリーンに投影する形でプロットしたものです。深さ25km程度までの浅い震源の分布域は、陸側プレートの地殻内の活動によるものです。

○県内で震度 1 以上を観測した地震

静岡県西部の地震（2 頁目震央分布図①の地震）

6 日 23 時 05 分静岡県西部で発生した M3.2 の地震（深さ 22km）により、長野県、静岡県、愛知県で震度 1 を観測しました（図 1）。

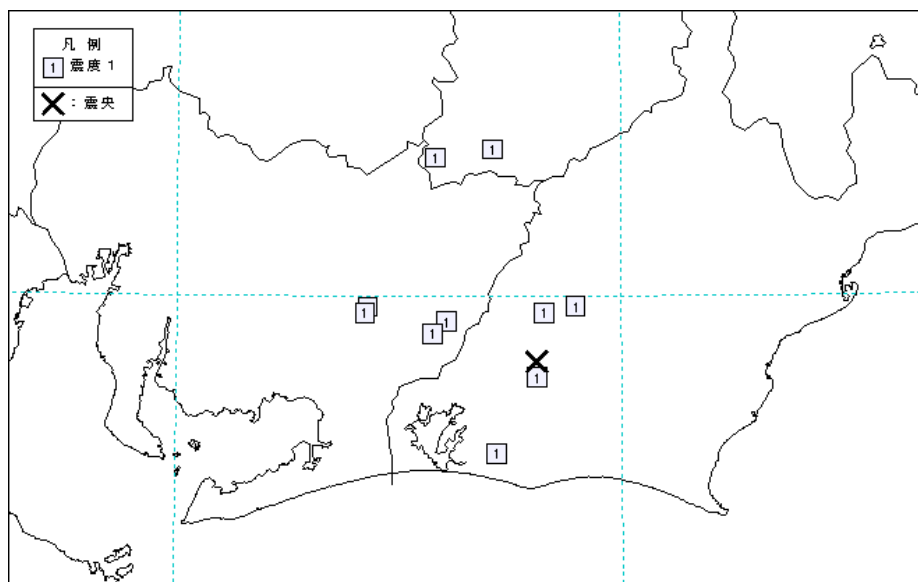


図 1 6 日 23 時 05 分 M3.2 震度分布図
（観測点別、×：震央）

愛知県西部の地震（2 頁目震央分布図②の地震）

7 日 12 時 07 分愛知県西部で発生した M2.9 の地震（深さ 11km）により、愛知県で震度 1 を観測しました（図 2）。

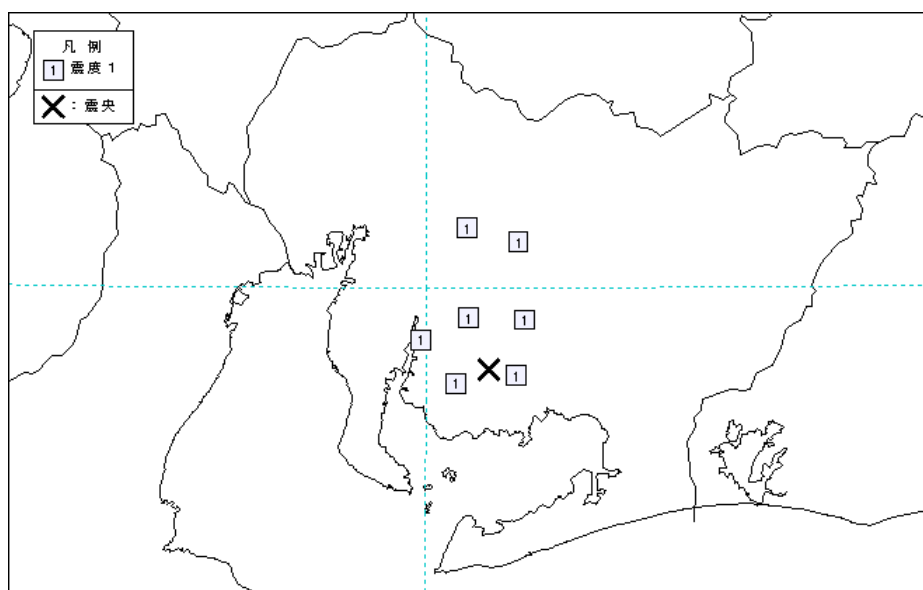


図 2 7 日 12 時 07 分 M2.9 震度分布図
（観測点別、×：震央）

愛知県西部の地震（２頁目震央分布図③の地震）

7日21時41分愛知県西部で発生したM3.1の地震（深さ42km）により、岐阜県、愛知県で震度1を観測しました（図3）。

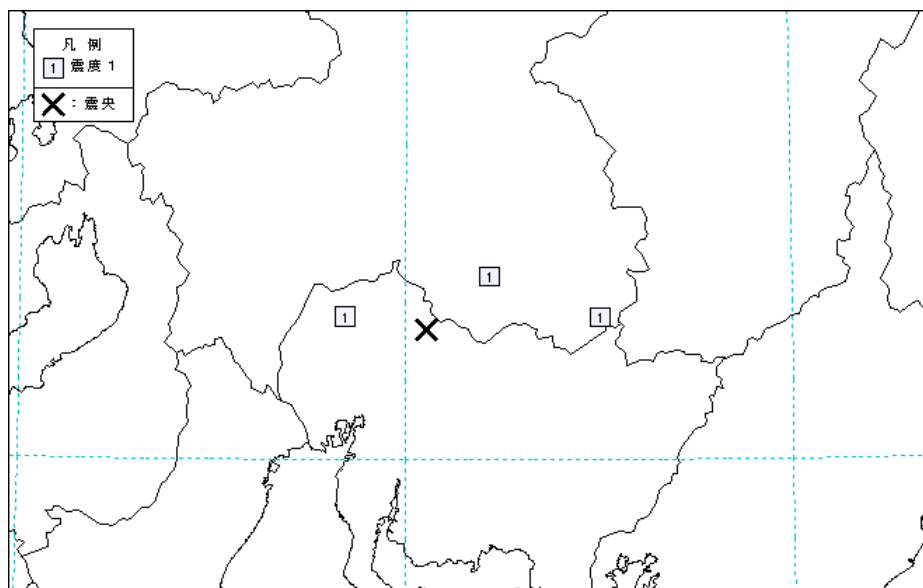


図3 7日21時41分 M3.1 震度分布図
（観測点別、×：震央）

愛知県西部の地震（２頁目震央分布図④の地震）

12日15時50分愛知県西部で発生したM3.4の地震（深さ45km）により、岐阜県、三重県で震度2から1、愛知県で震度1を観測しました（図4）。

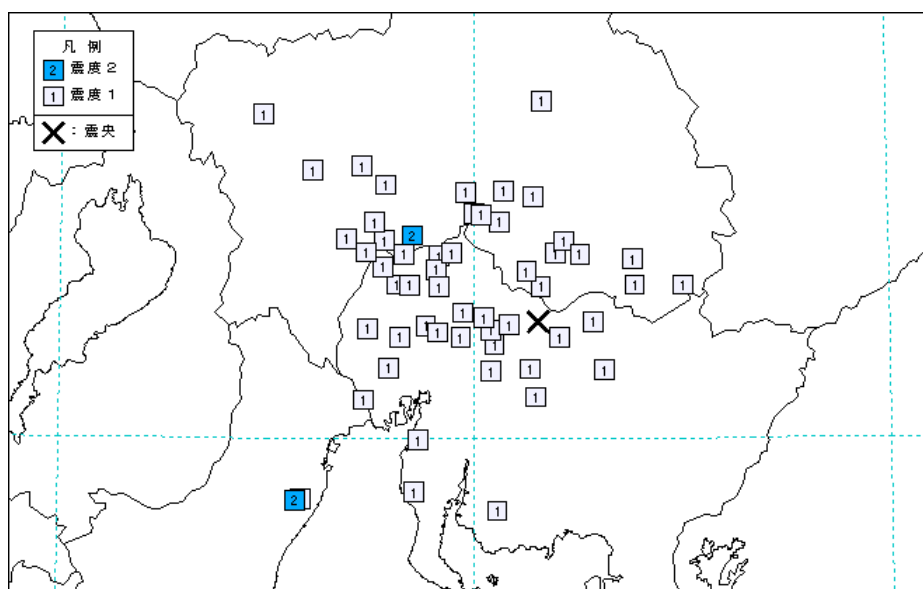


図4 12日15時50分 M3.4 震度分布図
（観測点別、×：震央）

愛知県西部の地震（２頁目震央分布図⑤の地震）

30 日 23 時 55 分愛知県西部で発生した M3.8 の地震（深さ 39km）により、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県で震度 2 から 1、三重県で震度 1 を観測しました（図 5）。

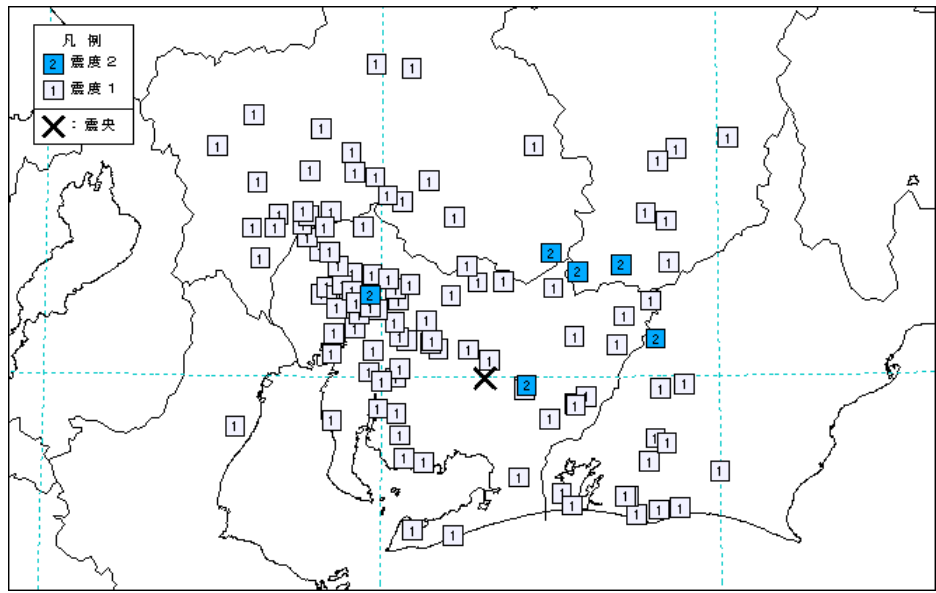


図 5 30 日 23 時 55 分 M3.8 震度分布図
(観測点別、×：震央)

○震度 1 以上を観測した地震の表（愛知県）

震源時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度					
2025 年 11 月 06 日 23 時 05 分	静岡県西部	34° 52.7' N	137° 48.5' E	22km	M3.2
愛知県	震度 1：新城市乗本, 新城市作手清岳, 新城市作手高里松風呂＊, 新城市大野＊				
2025 年 11 月 07 日 12 時 07 分	愛知県西部	34° 52.7' N	137° 06.8' E	11km	M2.9
愛知県	震度 1：岡崎市若宮町, 豊田市長興寺＊, 安城市横山町＊, 西尾市矢曾根町＊, 高浜市稗田町＊ 幸田町菱池＊, 愛知みよし市三好町＊				
2025 年 11 月 07 日 21 時 41 分	愛知県西部	35° 16.4' N	137° 03.1' E	42km	M3.1
愛知県	震度 1：一宮市千秋				
2025 年 11 月 12 日 15 時 50 分	愛知県西部	35° 13.8' N	137° 09.2' E	45km	M3.4
愛知県	震度 1：名古屋北区萩野通＊, 名古屋西区八筋町＊, 名古屋守山区下志段味＊ 名古屋守山区西新＊, 一宮市千秋, 一宮市木曾川町＊, 一宮市緑＊, 瀬戸市追分町＊ 春日井市鳥居松町＊, 豊田市小坂町＊, 豊田市藤岡飯野町＊, 豊田市保見町＊ 豊田市足助町＊, 豊田市小原町＊, 西尾市矢曾根町＊, 犬山市五郎丸＊, 常滑市飛香台 小牧市安田町＊, 稲沢市平和町＊, 知多市緑町＊, 尾張旭市東大道町＊, 日進市蟹甲町＊ 大口町下小口＊, 扶桑町高雄＊, 蟹江町蟹江本町＊, あま市甚目寺＊ 長久手市岩作城の内＊				

震源時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度					
2025 年 11 月 30 日 23 時 55 分	愛知県西部	34° 59.8' N	137° 18.5' E	39km	M3.8
愛知県	震度 2：新城市作手高里松風呂＊，名古屋守山区西新＊				
	震度 1：豊橋市向山，新城市乗本，新城市作手清岳，新城市大野＊，新城市作手高里縄手上＊				
	新城市長篠＊，新城市東入船＊，設楽町田口＊，東栄町本郷＊，豊根村下黒川＊				
	豊根村富山＊，田原市福江町，田原市赤羽根町＊，名古屋千種区日和町				
	名古屋東区筒井＊，名古屋北区萩野通＊，名古屋西区八筋町＊，名古屋中村区大宮町＊				
	名古屋中区県庁＊，名古屋昭和区阿由知通＊，名古屋瑞穂区塩入町＊				
	名古屋港区金城ふ頭＊，名古屋港区善進本町＊，名古屋守山区下志段味＊				
	名古屋緑区有松町＊，名古屋名東区名東本町＊，一宮市千秋，一宮市木曽川町＊				
	一宮市緑＊，瀬戸市追分町＊，春日井市鳥居松町＊，刈谷市寿町＊，豊田市小坂本町				
	豊田市大洞町，豊田市小坂町＊，豊田市藤岡飯野町＊，豊田市大沼町＊，豊田市駒場町＊				
	豊田市坂上町＊，豊田市保見町＊，豊田市長興寺＊，豊田市稲武町＊，豊田市小原町＊				
	豊田市小渡町＊，安城市和泉町＊，西尾市西幡豆町＊，西尾市吉良町＊				
	西尾市矢曾根町＊，犬山市五郎丸＊，常滑市飛香台，大府市中央町＊，知立市弘法＊				
	尾張旭市東大道町＊，高浜市稗田町＊，岩倉市川井町＊，日進市蟹甲町＊，東郷町春木＊				
	豊山町豊場＊，清須市西枇杷島町住吉＊，清須市清洲＊，愛知みよし市三好町＊				
	あま市甚目寺＊，長久手市岩作城の内＊				

（注 ＊印の地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。）

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

※地震関係の資料・情報は、名古屋地方気象台のホームページ『<https://www.data.jma.go.jp/nagoya/index.html>』からも随時ご覧になれますので、あわせてご利用下さい。

※2020 年 9 月以降に発生した地震を含む図については、2020 年 8 月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、新たな海域観測網観測データの活用等により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがあります。

遠地地震・火山噴火等による津波 (地震による揺れを感じない津波)

津波を起こす様な規模の地震が日本周辺で発生したときは、通常、地震による揺れを感じるため地震が発生したことがわかりますが、以下のケースの様に地震による揺れを感じられないにも関わらず、いきなり津波警報等が発表されることがあります。

地震による揺れを感じないため、なぜ津波警報等が出たのか理由が分からず、避難の判断が遅れる恐れがあります。

しかし、どの様な状況でも津波警報等が出た場合は速やかに避難するのが鉄則です。

●遠地地震に関する情報と津波警報等の発表

日本国外で発生した地震を「遠地地震」といい、この地震に伴う津波を「遠地津波」と呼んでいます。気象庁では、国外でマグニチュード7.0以上の地震が発生した場合や、都市部などで著しい被害が発生する可能性のある地震を観測した場合などに、地震の発生から30分程度をめぐに「遠地地震に関する情報」として、地震の発生時刻、発生場所（震源）およびその規模（マグニチュード）、日本や国外への津波の影響や観測状況について発表しています。津波の影響や観測状況に関しては、新たなデータに基づいて、随時情報を更新します（図1）。遠地津波については、日本沿岸での高さを予想し、被害のおそれがある場合、津波が到達する概ね2時間前までに津波警報等を発表します。

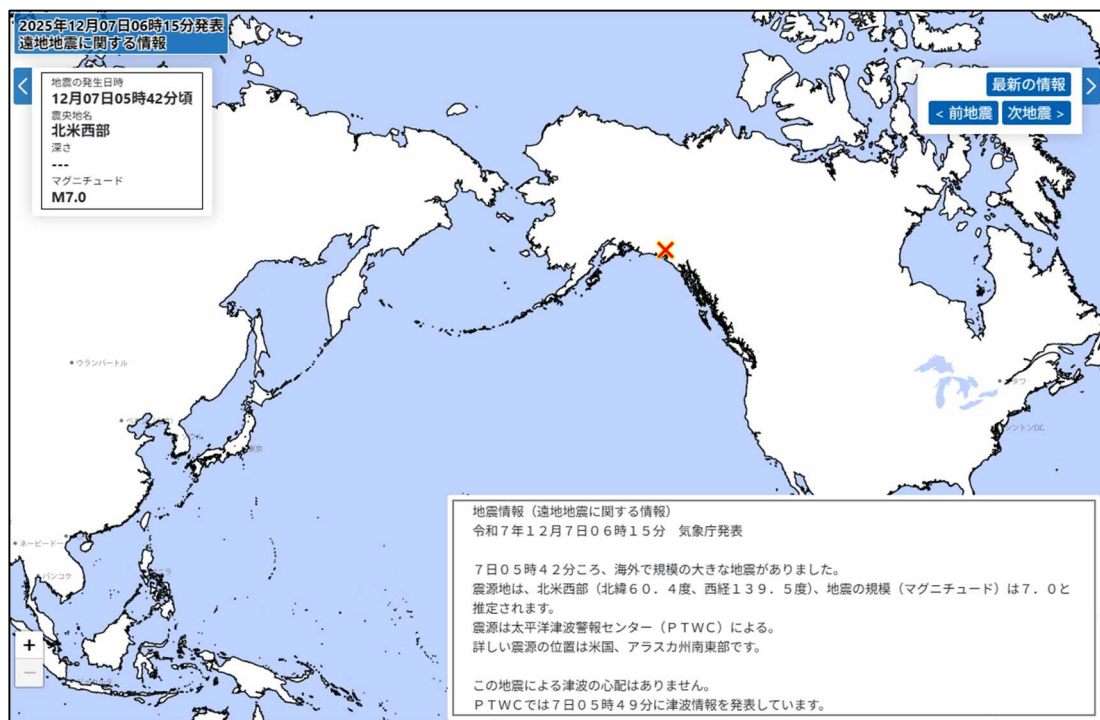


図1 遠地地震に関する情報発表例（気象庁 HP）

●火山噴火等による津波

津波は地震に伴い発生することが多いですが、火山噴火や山体崩壊等の火山現象が要因で発生することもあります。令和4年（2022年）1月には、南太平洋トンガ諸島での大規模火山噴火に伴い発生した気圧波により、日本で1 m以上の津波を観測しました。また、1741年の渡島大島（北海道）での噴火による海底地すべりや、1792年の雲仙岳眉山（長崎県）での山体崩壊の発生（島原大変肥後迷惑）などでも、津波が発生し大きな被害が発生した記録があります。この火山噴火等による津波も、津波警報・注意報を用いて注意・警戒を呼びかけます（図2から図4）。国外の大規模火山噴火等により津波発生可能性がある場合は、噴火発生から1時間半～2時間程度で遠地地震に関する情報を発表してお知らせします。

ただし、津波の原因となる火山現象等を覚知できないことがあります。また、覚知できたとしてもこれらの津波は規模の予想が極めて困難なことから、津波警報等は、原則として国内沿岸に到達した津波の観測状況に基づき発表することになります。また、その内容は随時切替えることがありますので、十分な留意が必要です。

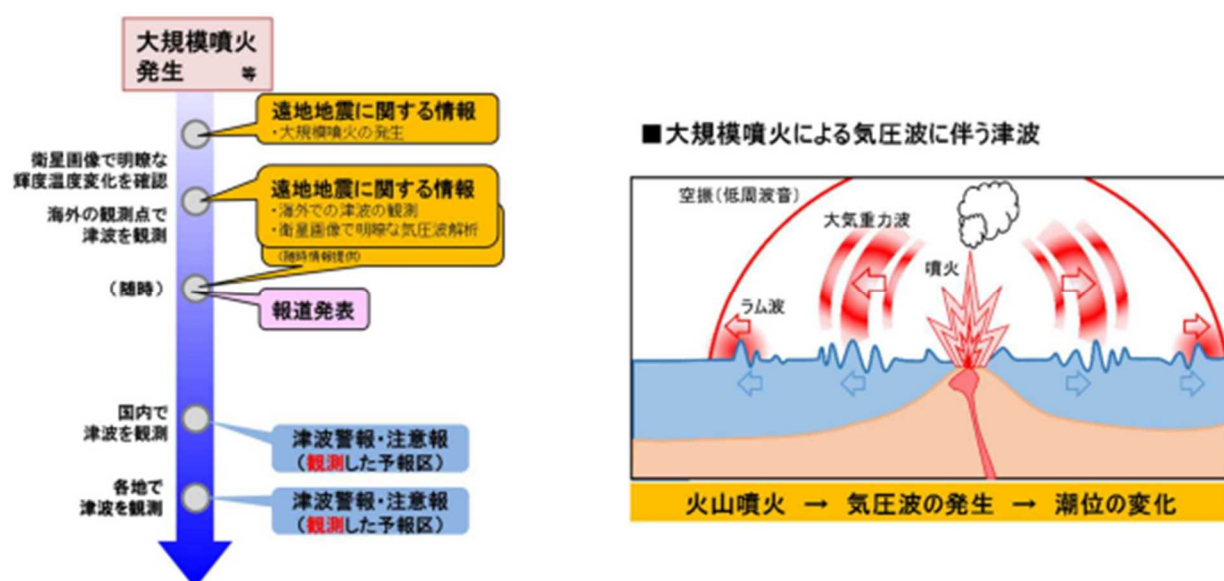
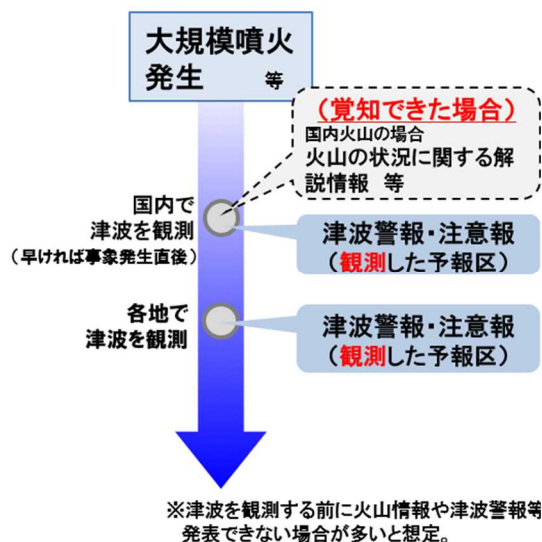


図2 火山噴火に伴う気圧波による津波の情報発表シナリオ



■海底地すべりに伴う津波

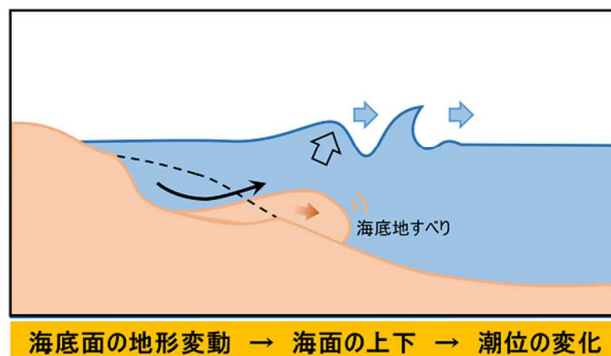
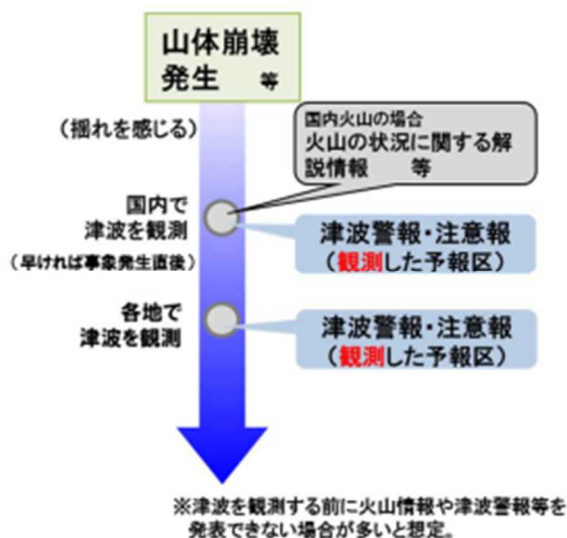


図3 海底地すべりによる津波情報発表のシナリオ



■火山活動による山体崩壊に伴う津波

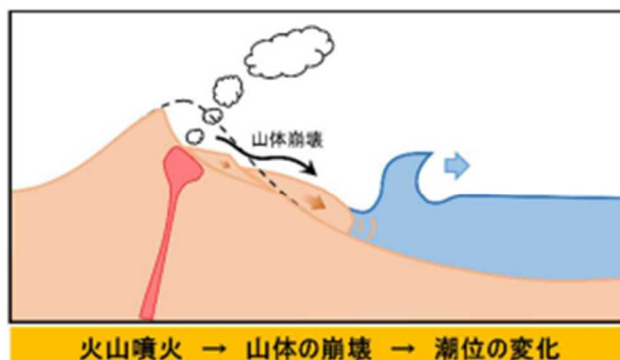


図4 火山活動による山体崩壊による津波情報発表のシナリオ

●津波警報等が発表された際の避難行動

以上のような津波の場合でも、津波警報等が発表された場合に取りべき行動は、日本付近で発生した地震による津波の場合と変わりません。遠く離れた国外で発生した地震や噴火では国内で揺れを感じることはありませんが、決して油断せず、津波警報等が発表されたら危険な場所から避難し、警報等が解除されるまで避難行動をとり続けてください。遠地津波は到達するまでに時間的猶予があるため、各人が適切な避難行動をとれば必ず人的被害を抑えることができます。遠地地震や火山噴火等による津波に対して正しい知識を持ち、もしもの時に落ち着いて行動できるよう備えておきましょう。